

株主の皆さまへ

第68期 第2四半期株主通信

2015年3月期 第2四半期連結累計期間 [2014年4月1日~2014年9月30日]

IDEC MESSAGE



Think Automation and beyond...

Contents

| | |
|--------------------|---|
| トップメッセージ | 1 |
| 事業の概況 | 3 |
| TOPICS | 6 |
| 会社概要および株式の状況 | 7 |

IDEC株式会社

証券コード 6652

株主の皆さまへ

皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2015年3月期 第2四半期の業績概況についてご報告申し上げます。

IDEC Identity

失敗を恐れないチャレンジ精神、
独創的なアイデアの追求、
飽くなき工夫と改善。
創業以来受け継がれる技術者魂は、
IDECで働く私たちの中に
今もしっかりと根付いています。
期待して下さるお客さまがいる限り、
革新を求める社会ニーズがある限り、
それに応え続けていきたい。

私たちは、今も、そしてこれからも
人と機械の最適環境を創造する、
そのエキスパートとして挑み続けます。



代表取締役会長兼社長
船木俊之

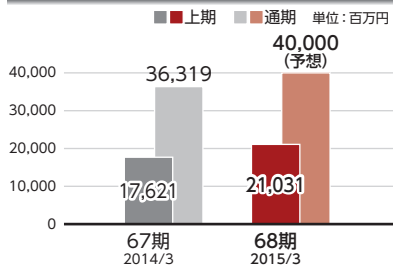
制御機器・環境関連ビジネスが着実に伸長し、増収増益を達成。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては民需を中心に堅調に推移し、欧州においても景気持ち直しの傾向が続くなど、回復基調で推移しました。アジア地域においては、中国経済は安定した景気拡大が続くものの、東南アジア地域では政治的要因により内需が伸び悩むなど、景気は足踏み状態で推移しました。わが国経済においては、消費税増税による影響は限定的で、高水準の公共投資や雇用の改善などにより緩やかな回復基調で推移しました。また、業界環境については、当社が所属する

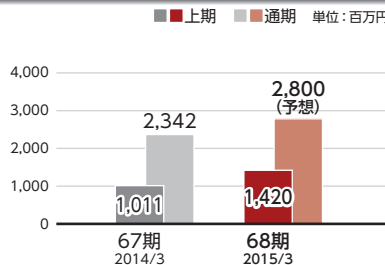
社団法人日本電気制御機器工業会の出荷高が前年を上回る水準で推移するなど、概ね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループでは、既存事業分野においては、顧客ニーズに基づく制御ソリューション展開を強化し、差別化によるシェア拡大、収益性向上を図るとともに、海外での事業拡大に取り組んでおります。また、社会的ニーズが高まっている環境・エネルギー分野や、成長する自動認識機器分野などの新規事業展開に取り組んでおります。

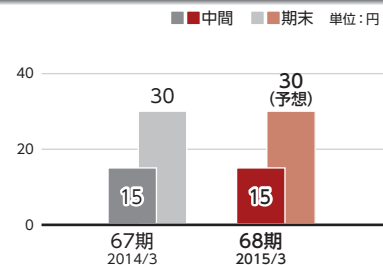
売上高 21,031百万円



営業利益 1,420百万円



1株当たりの中間配当金 15円



2015年3月期第2四半期の業績

当社グループの売上高は、主力製品である制御機器製品など既存事業分野において、日本をはじめ北米、中国を中心に伸ばしました。加えて、新規事業として取り組んでいる産業用太陽光発電などの環境関連ビジネスも堅調に推移したことなどから、連結全体の売上高は210億3千1百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

営業利益は、主として増収効果による利益増により14億2千万円（前年同期比40.4%増）、経常利益は為替差益の計上などにより15億7千1百万円（前年同期比46.1%増）、四半期純利益は10億2千9百万円（前年同期比88.2%増）となりました。

当期中間配当金は1株当たり15円としております。

なお上記のとおり各地域、製品群で期初の計画を上回る状況で推移したことから、2014年10月24日に2015年3月期第2四半期連結累計期間の業績を修正いたしました。通期の業績予想については、現時点では据え置くこととしております。

中期経営計画の取り組み

中期経営計画の具体的な取り組みの一貫として、2014年5月にコーネットグループを買収し、生産性向上、省力・省人化、安全環境の実現など、顧客ニーズに対応する最適な制御システム製品の提供やエンジニアリングサービスなどを機動的に行い、制御ソリューションビジネスを一層強化する体制を整備いたしました。

また、自動認識機器市場での事業拡大に向けて、世界有数の自動認識機器メーカーであるDATALOGIC社（イタリア）との戦略的パートナーシップのもと、制御機器で培った技術を活かした自社製品の開発を行うなど、設計から販売まで一貫した体制で事業を拡大してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

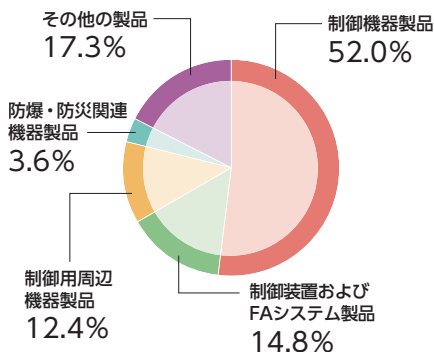
2014年11月

主力の制御機器製品をはじめ、全製品群で増収を達成

■ 製品別の概況

主力製品である制御用操作スイッチや制御用リレーなどの制御機器製品は、景気回復などを背景に日本および米国、アジア・パシフィックで堅調に推移しました。また、プログラマブルコントローラや自動認識機器製品などの制御装置およびFAシステム製品の売上も伸長するなど、全製品群で前年同期比増収となりました。

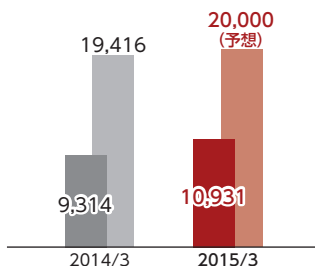
<製品群別売上高比率>



■ 制御機器製品

売上高前年同期比 **17.4%増**

売上高の推移 ■ 上期 ■ 通期 単位：百万円



主要な事業内容

HMI（人と機械がふれあう環境）の核となる盤面機「制御用操作スイッチ」「表示灯」、現場の安全システムを実現する「安全関連製品」など。



フラッシュシールドスイッチ LBシリーズ

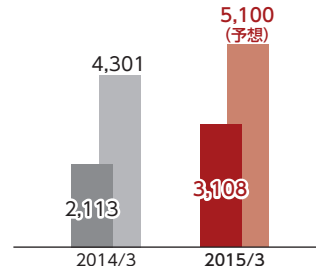
■ 制御機器製品の概況

日本において、制御用操作スイッチ、安全関連機器、産業用LED照明などが伸長したことに加え、北米や中国で制御用操作スイッチやリレーなどの売上が伸長しました。

■ 制御装置およびFAシステム製品

売上高前年同期比 **47.1%増**

売上高の推移 ■ 上期 ■ 通期 単位：百万円



主要な事業内容

人と機械の対話機器「プログラマブル表示器」「ペンダント」、機械・装置の頭脳の役割をする「プログラマブルコントローラ」など。



I/O一体型コントローラ FT1A形

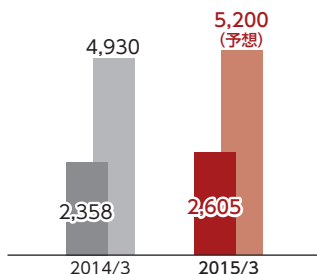
■ 制御装置およびFAシステム製品の概況

日本や北米において、プログラマブルコントローラの販売が増加したほか、本年度より本格的に事業を開始した自動認識機器製品の売上が伸長しました。

■ 制御用周辺機器製品

売上高前年同期比 **10.4%増**

売上高の推移 ■ 上期 ■ 通期 単位：百万円



主要な事業内容

機械・装置など制御部分のベーシックな機器「スイッチング電源」「端子台」「ソケット」「コントロールボックス」など。



スイッチング電源
PS6R形

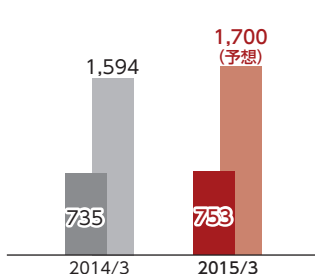
■ 制御用周辺機器製品の概況

日本において端子台や電源機器などの売上が伸長したことに加え、北米やアジア・パシフィック地域においてもソケットなどの売上が伸長しました。

■ 防爆・防災関連機器製品

売上高前年同期比 **2.4%増**

売上高の推移 ■ 上期 ■ 通期 単位：百万円



主要な事業内容

爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「本質安全防爆機器」「耐圧防爆機器」「内圧防爆機器」など。



防爆LED照明
EF1A形

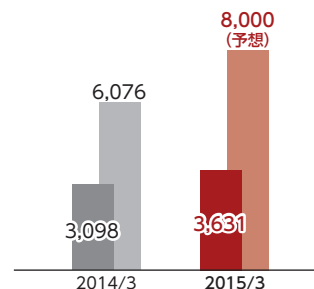
■ 防爆・防災関連機器製品の概況

日本において、リレーバリアなどの売上が伸長しました。

■ その他の製品

売上高前年同期比 **17.2%増**

売上高の推移 ■ 上期 ■ 通期 単位：百万円



主要な事業内容

環境関連ビジネスである「太陽光発電用電力マネジメントシステム」「産業用太陽光発電システム」の提供、その他「微細気泡発生装置」「施設用LED照明」「HMIソリューション製品」など。



太陽光発電用パワーコンディショナ
PJ1A形

■ その他の製品の概況

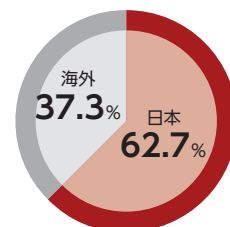
産業用太陽光発電関連ビジネスなど環境関連製品の売上が伸長しました。

事業の概況

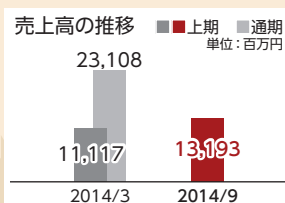
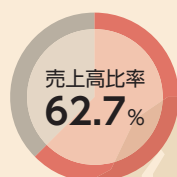
北米やアジア地域を中心に 制御装置およびFAシステム製品などが伸長

■ 地域別の概況

日本 **13,193**百万円 売上高前年同期比 **18.7%**増
海外 **7,837**百万円 売上高前年同期比 **20.5%**増

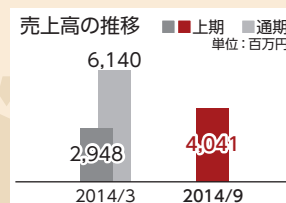


I 日本 18.7%増



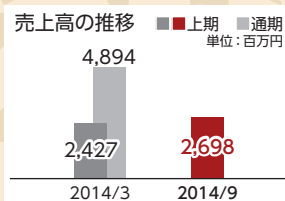
制御用操作スイッチや制御用リレーなどの制御機器製品や、新規事業として取り組んでいる太陽光発電関連ビジネスなど環境関連事業の売上が伸長しました。

II アジア・パシフィック 37.1%増



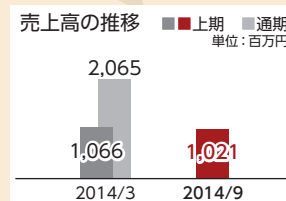
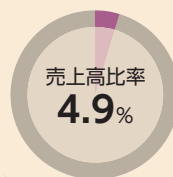
中国地域を中心に、制御用操作スイッチや制御用リレーの売上が大きく伸長したほか、プログラマブルコントローラなど制御装置およびFAシステム製品や制御用周辺機器製品群の売上も伸長しました。

III 北米 11.2%増



円安効果に加え、米国経済が堅調に推移したことなどを背景に、制御機器製品群やプログラマブルコントローラなど制御装置およびFAシステム製品の売上が伸長しました。

IV 欧州 4.2%減



制御機器製品群は堅調に推移したものの、プログラマブルコントローラの仕向地がアジアにシフトしてきたことなどから、前年同期比では減少となりました。

2014年4月～9月の主なトピックス

■ JECA FAIR (電設工業展) に出展



■ コーネットグループを 子会社化



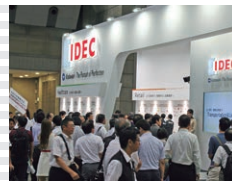
■ 第67期定期株主総会開催



■ [関西] PV EXPOに出展



■ 自動認識総合展に出展



4月

5月

6月

7月

8月

9月

■ コンパクトサイズの太陽光 発電用パワーコンディショナ PJ1A形5.9kWタイプ発売



環境製品

■ 高効率と低グレアを両立した 高天井用LED照明 LG1H-200シリーズ発売



LED照明

■ 国内メーカーで初めて海外 防爆認証を取得した耐圧防爆 構造LED照明EF1A形発売



LED照明

防爆製品

■ 小形サイズで機器組込みに最適な 固定式1次元CCDスキャナWB1F形 を自動認識総合展で参考出展



自動認識機器

PICK UP!

太陽光発電のトータルソリューション・パートナーを目指した取り組み

IDECグループは、太陽光発電のトータル・ソリューション・パートナーを目指した取り組みを推進しておりますが、その取り組みをいくつか紹介いたします。

住宅用パワーコンディショナ分野

業界最小サイズで好評をいただいている屋内用に加え、市場のニーズが強い屋外用タイプの開発を進め、展示会で参考出展しました。また、発電の「見える化」を実現するモニタリングサービスをHEMS (Home Energy Management System) に発展させ、家全体のエネルギーを最適運用するシステムを提案しています。



PV EXPOに出展した屋外用パワーコンディショナ (左)

産業用太陽光発電分野

住宅や小規模店舗、駐車場・工場屋根・野立て向けなど低圧連系

向け案件をターゲットに、施工会社の負担を低減するため、システム設置に必要な太陽光発電モジュール、パワーコンディショナ、接続・集電箱、架台、モニタリングシステムなど機材一式をワンストップで提供する「太陽光発電フルサポートパック」の提供を開始しました。

また、尼崎事業所に実験・展示場を開設し、施工性に優れた架台などを展示し、見学会を開催しています。さらには、一般的に発電には不向きとされている北面を含む全方位に太陽光発電モジュールを設置し、オプティマイザや昇圧ユニットを活用した、全体の発電量増加をシミュレーションしているほか、オプティマイザの機能を活用し、モジュールごとの発電状況を「見える化」する実験などを行っています。



施工性に優れた架台などを展示

会社概要

社名 IDEC株式会社
 英文社名 IDEC CORPORATION
 設立 1947年3月26日
 資本金 10,056,605,173円
 従業員数 連結2,287名
 (2014年3月31日現在)
 ※特定社員・臨時社員含まず



本社/技術研究センター

上場取引所 東京証券取引所第1部
 本社 〒532-0004
 大阪市淀川区西宮原2丁目6番64号
 電話06-6398-2500 (代表)

東京本社 〒108-6014
 東京都港区港南2丁目15番1号
 品川インターシティA棟14階
 電話03-5782-7690 (代表)

事業所 筑波、浜松、尼崎、福崎、滝野
 営業所 仙台、高崎、宇都宮、大宮、水戸、東京、多摩、横浜、
 松本、新潟、富山、金沢、浜松、名古屋、京都、大阪、
 岡山、福山、広島、四国、福岡

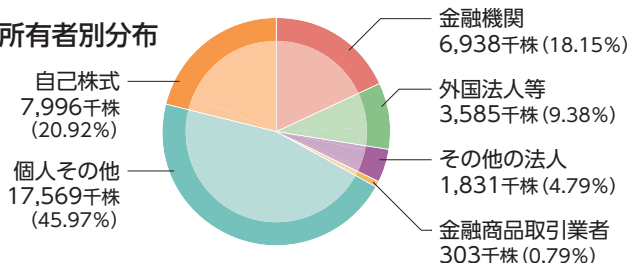
物流センター 竜野

株式総数および株主数

- 発行可能株式総数…………… 150,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 38,224,485株 (注)
- 単元株式数…………… 100株
- 当第2四半期末株主数…………… 10,504名

(注) 買取、買増請求への対応などにより、2014年9月30日現在の自己株式保有株数は7,996,226株となっています。

所有者別分布



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

配当金受領株主 期末配当金 3月31日
 確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 事務取扱場所

お問い合わせ先 ☎ 0120-782-031
 (受付時間 9:00 ~ 17:00 土日休日を除く)

公告の方法 電子公告により行います。
http://jp.idec.com/ja/aboutIDEC/ir/stockholder_info
 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

- 株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座開設機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- なお、特別口座に記録された株式につきましては当社特別口座管理機関にご連絡ください。

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 (電話照会先) 0120-094-777 (フリーダイヤル)



和泉電気からIDEC (アイデック) へ

IDEC株式会社

URL : <http://jp.idec.com>